



Japan Boxing Commission

Tokyo Dome 1-3-61 Bunkyo-ku, Tokyo, Japan  
Tel' 813-3816-5761 Fax' 813 3816-5760

## Press Release

JBC は WBC からの 3 月 19 日付書面による照会につき検証し、WBC との協議の上、下記の通りとなりましたのでご報告いたします。

### 記

#### 1. 検証対象試合

2026 年 3 月 15 日 神奈川県横浜市 横浜 BUNTAI

WBC 世界ライト・フライ級タイトルマッチ

チャンピオン ノックアウト・CP・フレッシュマート (タイ) 対

同級 2 位 岩田翔吉 (帝拳)

公式記録 岩田選手の勝利 TD 8R1' 33" (0-3 : 73-79, 74-78, 73-79)

#### 2. 検証内容

4 ラウンドにおける、ノックアウト・CP・フレッシュマートの負傷の原因

#### 3. 検証方法

ビデオ映像による検証

#### 4. 検証実施者

JBC 職員及び JBC 試合役員 計 7 名

#### 5. 検証結果

4 ラウンド 0' 55" 頃の岩田選手の右フックを受けたことにより、ノックアウト選手は左目上付近に裂傷を負ったものと認められる。負傷の原因となるヘッドバッティングは認められず、当該負傷は岩田選手の有効なパンチによるものであると判断できる。

以上より JBC は当該試合を管理したローカルコミッションとして、当該試合の結果をルール上の負傷判定から TKO に変更が妥当と結論づけた。

今後は、国内におけるインスタントリプレイの積極的な活用及び一般化を推進する。

以上

一般財団法人日本ボクシングコミッション  
本部事務局長 安河内 剛